

新興国における情報セキュリティ (ベトナムを例に)

2011年2月

株式会社インフォクラスター

Japan Computer Software Co. Ltd.

古川 浩規

(情報セキュリティアドミニストレータ)

ベトナムの情報産業

オフショア開発発注取引額国別の年次変化(単位:100万円)

国・地域名		調査対象年(暦年)					
		2002年	2003年	2004年	2006年	2007年	2008年
1	中国	9,833	26,280	33,241	48,535	57,537	56,476
2	米国	3,260	4,988	5,147	169	2,628	2,794
3	オーストラリア	0	2,626	3,133	0	4,459	4,247
4	フィリピン	1,864	2,494	2,117	1,550	4,262	4,604
5	インド	1,908	6,312	4,255	14,093	20,631	20,806
6	英国	20	1,827	2,126	-		
7	フランス	0	834	548	-		
8	ベトナム	30	30	216	430	1,258	3,867
9	韓国	1,952	1,871	1,415	1,450	1,220	939
10	ドイツ	230	54	0	-		
11	EU諸国	-	-	-	4	1,163	1,219
その他		1,154	1,644	499	1,677	2,669	6,131
計		20,251	48,960	52,697	67,908	95,827	101,083
対象国未回答分		-	-	-	3,370		
計		20,251	48,960	52,697	71,278	95,827	101,083

「コンピュータソフトウェア分野における海外取引および外国籍就労等に関する実態調査」(社団法人情報サービス産業協会、社団法人電子情報技術産業協会、社団法人コンピュータソフトウェア協会)による調査結果と本調査結果をもとに作成。2006年以降の英国、フランス、ドイツ分については、EU諸国に統合した。

出典:「IT人材白書2010」(独立行政法人 情報処理推進機構)

ベトナムで見聞きする事案(例として)

(驚いてはいけない当たり前の出来事!?)

- パーツ屋さんでハードディスクを購入すると、**前の情報がごっそり残っていた。**
- Windowsを使っていると右下に「**お客様は偽造ソフトウェアの被害に遭われた可能性があります。**」という警告が出る。
- ウィルス対策は、「ノーガード戦法」。**感染したら、フォーマットして、丸ごと再インストールすることがシンプルで確実。**

ベトナムではモノがないのか?

- **NO! モノは「ある！」**
市中で普通に売っている
IT系の学生には、マイクロソフト社から正規ライセンス発行(2つ) 等
- **しかし、ベトナムならではの事情もある。**

ベトナムならではの事情(1 - 1)

(高すぎて買えない)

- 一式揃えると・・・: **USD1,152(96,192円)** 1USD=83.5JPY

HP社製ノートPC: USD737

- Intel P6000, メモリ2GB(DDR2)、250GB(SATA)

Windows 7 Pro(英語版): USD180

MS-Office Basic Edition 2007(英語版): USD235

(2011年2月17日付の実際の見積価格より抜粋)



現実には・・・

(政令第 107/2010/ND-CP号に基づく外資系企業の最低賃金)

- 第 地域(ハノイ市及びホーチミン市を含む)における企業:
1,550,000VND/月(約6,200円/月) 1JPY=250VND(ただし市中レートはさらにドン安)

(一般水準は?)

- ハノイ市での新卒IT技術者初任給(英語のみ): USD350程度
- ダナン市でUSD1,000/月を出すと: 経験豊富で優秀な上級管理職が採用可

ベトナムならではの事情(1 - 2)

(ベトナム最大手の某IT企業運営のショップにて)

(お客) (通常価格のPCに対して)このPCは、ソフトウェアは付いている？

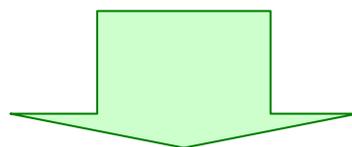
(店員) ハードウェアのみの価格でございます。

(お客) OSは売っている？

(店員) ハード御購入の方に、Windows7 ProかHomeを無料で御提供いたします。

(お客) マイクロソフト・オフィスは？

(店員) ハード御購入の方に、MS-Office2007を無料で御提供いたします。



- 一般的な買い手の考えでは、“信頼できるショップで購入したもの”
- しかし、果たして出てくるモノは？？

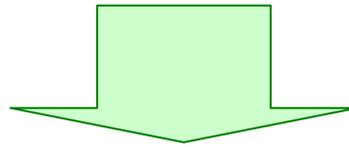
ベトナムならではの事情(2 - 1)

(ウイルス対策はできている?)

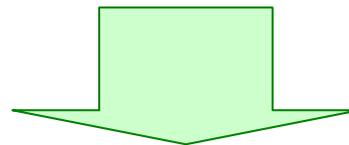
(社員A) 御着任、お疲れ様です。本日よりこのPCをお使いください。

(社員B) ウィルス対策は問題ない?

(社員A) 大丈夫です、セットアップできています。



- セットアップは出来ている。
 - しかし、確認してみると…
 - 基本プログラムは5年前のもので、ウィルス定義ファイルの更新なし
 - Windows Updateは停止中。Windows XP Sp2のまま。
- 話者の間での大きな意識の差が発生する。



しかし、年会費を支払い、更新していくシステムにも難あり

ベトナムならではの事情(2 - 2)

(年会費の支払いシステム)

- ・ クレジットカード払い:
 - そもそもクレジットカードなんて持っていない。
 - 持っていても使い勝手が悪い。ある種のデビットカード。
(支払先と金額を銀行に事前に登録する場合も)
- ・ ショップ払い:
 - そのショップが来年に存在するとは限らない。
(信頼できる大規模量販店が少ない。)
- ・ 銀行払い:
 - 銀行には行かない。口座もない。
(近年、銀行振込になり口座を持つようになってきた。)
- ・ 郵送:
 - 普通郵便の未着率は50%程度と言われている。
 - 国内EMSであればある程度確実。しかし、費用がかかる。

まとめ

- ・ 情報セキュリティに対する基本的な考え方について未成熟。
- ・ 政府は取組を進め、民間団体(ベトナム情報セキュリティ協会)はあるものの、金融機関を中心とした取組が緒についたところ。
- ・ 一方で、独力でISMSの認証取得を受けたIT企業もある。
- ・ 今後は、
 - 金融セクター
 - 外国との取引が多い企業を中心に情報セキュリティに対する考えが浸透していく？

- ・ **発表者**

株式会社インフォクラスター代表取締役社長

日本コンピュータソフトウェア代表取締役社長

古川 浩規

furukawa.hiroki@info-cluster.com

furukawa@jcs-corp.com